

(様式2)

# 学校関係者評価報告書

愛媛県立北条高等学校  
学校番号 ( 19 )

評価実施日		令和5年3月10日(金)	
委員	氏名	所属等	備考
	梶原 富彦	梶原動物病院院長	欠席
	宮内 康輔	北条地区まちづくり協議会事務局長	
	矢野 裕司	北条ふれあいセンター館長	欠席
	秋山 昌江	聖カタリナ大学人間健康福祉学部長	
	田中 匡史	北条浅海郵便局長	欠席
	高智 誠司	北条北中学校長	
	杉野 巻男	旧堀江小学校長	
	難波江美穂	北条高等学校PTA会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学校生活全般</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教職員間の協力体制について、職場での「報・連・相」が定着し、定数減の中で教員が密にコミュニケーションをとっていることの効果が出ている。</li><li>・地域への広報活動の評価は、コロナ禍での交流活動の制約が影響している。学校外での活動が見られないのが残念であるが、来年度は機会が与えられるのではないかと希望を持っている。</li></ul> <p>(2) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学習時間の目標は達成できているが、家庭学習の指導に関する評価が一気に落ちている。個別の対応にひと工夫必要かと考える。大学でも工夫しているが、中学校、高校での学習時間が大学での学習時間に大きく影響している。</li><li>・出席停止の席があることが心理的に影響しているためか、欠席が増加している。中学校でも遅刻や欠席する生徒が多いが、高校で様々な学びの方向があるのは希望がある。中学校の現場の状況を知っていただきながら、地域の各種学校が北条高校と連携していきたい。</li></ul> <p>(3) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・近年は、医療系専門学校への進学が増加している。今年度の3年次は公務員希望者が多いのが特徴的である。</li><li>・総合研究発表会では、発表者や発表者へ質問する下級生を含めて成長を感じた。地域の高等学校で育てていただいている子供の様子を実感でき感謝している。</li><li>・本日の「私のライフプラン」発表会では、「視野を広げたい」という意見発表が多かった。地域と関わっているいろいろな人と話すよ。その時にはぜひ協力・連携していきたい。</li></ul> <p>(4) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ヘルメットの着用状況では、数年前と比べ最近はみんなきちんとつけている。交通マナーもよく通学している。指導が行き届いていると感じている。</li><li>・生徒たちが気持ちのいい挨拶、会釈などをしてくれるのがよい。今後も自分から進んでできる子に育てていくといい。</li></ul> <p>(5) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・アーチェリー部、なぎなた部、レスリング部、書道部が全国大会出場や優勝、ラグビー部1名がU18合同チーム西日本代表で出場した。部員が少ない中頑張っている。</li></ul> <p>2 学校運営への提言</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自由闊達な子どもの教育に、子どもが伸び伸びと生きる場として総合学科の学びはよいのではないかと。県立学校として多様な生徒や課題のある子どもを受け入れ、各生徒の興味のあることを重点的に深めて勉強できるのはよいと思う。</li><li>・地域の活動も3年間コロナの影響でできていないが、4月から活動の再開を検討している。生徒のみなさんにも参加してもらいたい。生徒数が減っているが連携して何か企画していきたい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教職員一人一人の技能の向上だけに依存するのではなく、結束して問題解決していく取組を継続していきたい。</li><li>・コロナ禍の影響でできないことに目を向けるのではなく、できることに着目して多くの教職員が模索し続けることを今後とも重視していきたい。</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・教職員のICT技能は着実に向上しているため、これまでの遠隔授業等のノウハウを生かして、個別の家庭学習指導にも工夫を重ねていきたい。</li><li>・本校には、アクアランドのように環境保全に注力した施設を準備しており、地域の人々との交流を受け入れてきた。今後もあらゆる機会をとらえて地域交流を推進していきたい。</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・年度により志望傾向に違いはあり得る。生徒や保護者が何を求めているかを把握して、今後も適切なキャリア指導を推進したい。</li><li>・総合研究は、1年次「産業社会と人間」「私のライフプラン発表会」や、2年次「総合学習」を礎とした学習の集大成なので、今後も生徒の思考力・表現力の進展に尽力したい。</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・今年度は、大きな自転車事故や重大な事故は起こっていないが、今後も「命の授業」や全校集会等で機会あるごとに公共の場におけるルール遵守やマナー定着等の重要性等を周知徹底して意識を高めていきたい。</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・1年次生は全員何らかの部に所属し、集団社会の中で年次を越えた仲間と学び合うことの重要性について理解を促している。今後も推進していきたい。</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・総合学科の特徴は、中学校の進路説明会を中心に機会あるごとに発信している。生徒の数だけ学びがあるというキャッチフレーズの下、生徒たちの興味・関心を重視する教育活動を今後とも推進していきたい。</li><li>・毎朝の検温や昼食時の黙食徹底等、三密回避行動を確実にし、大きな支障を被ることなく教育活動が実践できたので、第5類となっても感染症対策を怠ることなく地域の活性化に尽力し、地域の負託に応えていきたい。</li></ul>